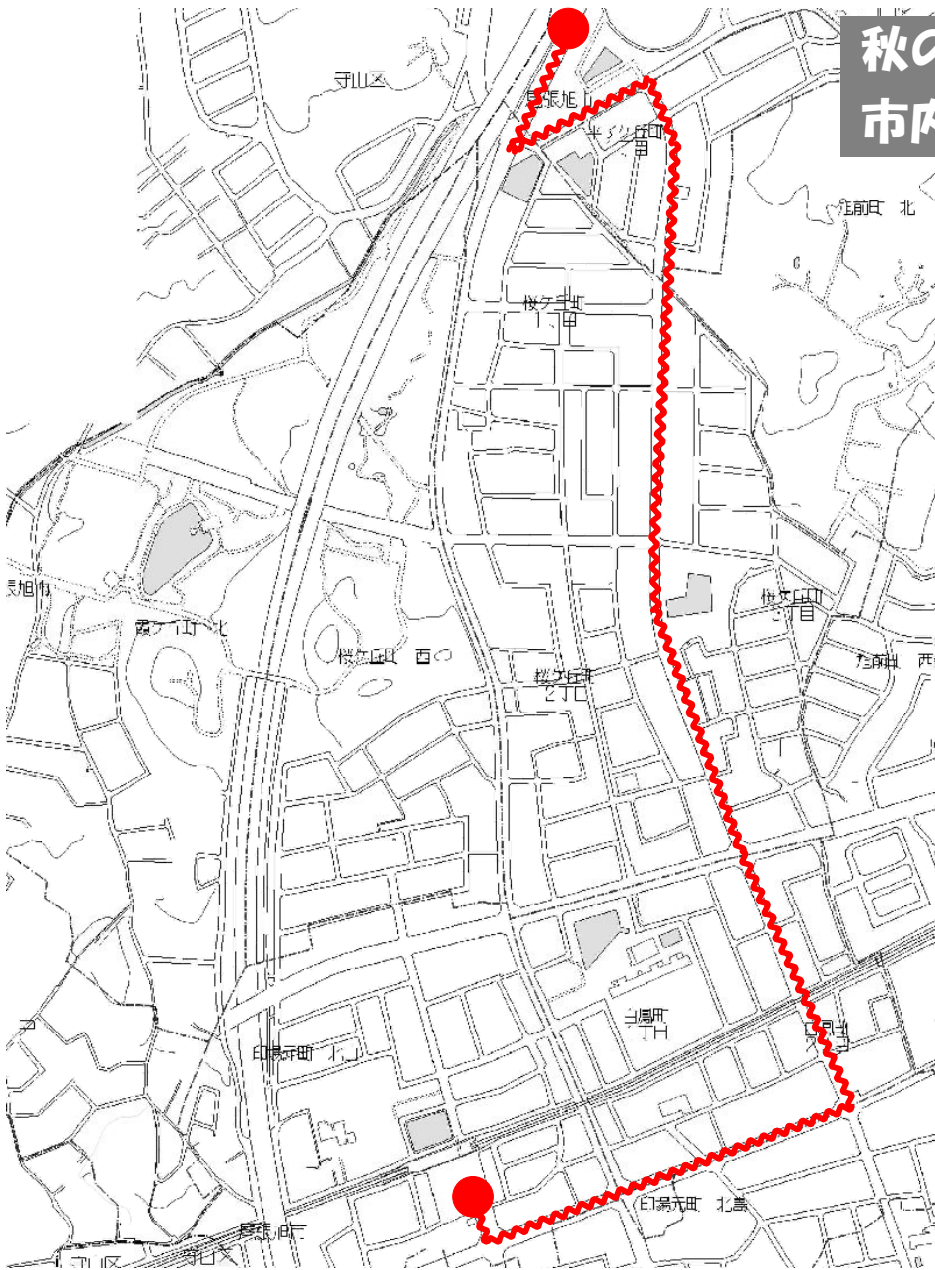
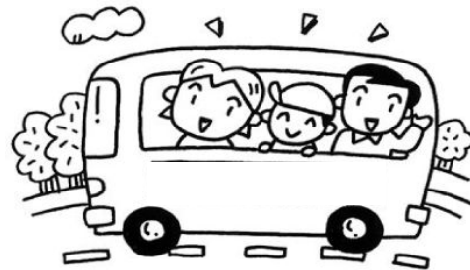


秋のダイヤ改正で 市内に名古屋市営バスの新路線

10月のダイヤ改正に合わせて、名古屋市営バスが、尾張旭市内を通る新路線を計画していることがわかりました。

6ヶ所程度のバス停設置が計画されているため、6月議会の議案としてあがり、明らかにになりました。バス停の設置場所や、運行本数などは調整中です。



7月29日、雨の中、新給食センター建設工事の安全祈願祭が執り行われ、建設がはじまりました。

10年以上前から、0-157対策などの衛生面や、老朽化の問題で、党市議団が早期建設を求めてきたものです。

市長のあいさつから、建設地の選定に長期間かかったことがうかがえました。

新給食センターによる給食は、来年9月、2学期からはじまる計画です。

新給食センター 建設はじまる



旭前町新田洞の新給食センター建設地にて

裏面掲載の小学校区別人口ピラミッドについて

市内の全9小学校区別の、人口ピラミッドを作成しました。学区単位の人口構造を知ること、地域のまちづくりなどを議論する際に、役立つのではと考え、今春作成したものです。

集計単位が小字（こあざ）毎であるため、複数の小学校区にまたがる地域（小字）は、便宜的にどちらか一方の学区に振り分けてあります。そのため、完全な校区毎の人口ピラミッドではありません。

（小字単位で学区がまとまっている、渋川、瑞鳳の2小学校区は完全なものです。本地原、白鳳の2学区は、学区をまたがる地域が少ないため、振り分けの影響はわずかだと思います。詳細は、川村議員のHPをご覧ください。http://kawamura.jcpweb.net/）

学区毎の人口ピラミッドを見比べると、市西部の渋川学区など、区画整理が最近進んだ地域では30代の人口構成が多く、また、瀬戸よりの市東部では、マンション建設が盛んだった頃に、人口が増加したと思われる形状になっています。